

平成十九年九月二十日

〒五三〇八〇四

高岡市問屋町四十

有限会社 沖商店発

〒五三〇八〇四

TEL 〇七六六一五五〇〇

FAX 〇七六六一五五〇〇

E-mail info@oki-shouten.com



いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょう』と『どう』ことを皆様と一緒に考え、意見を交換し相つて、共に研鑽を深めて行きたい。そんな思いで本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいませ。

一 安倍総理大臣の突然辞任に思う

今日十二日、安倍総理大臣が突然辞意を発表しました。そのあまりの唐突さに、耳にした者で驚かなかつた者はいなかったでしょう。日本中はおろか世界各国で報道されていきました。しかも、同じ突然でも、あまり重要な事柄がない時ならそれほどでもなかつたと思えますが、参議院選挙に大敗し引責辞任の声高い中、自ら統投を宣言し、新内閣を組閣した直後の国会開催に際し、皮切りの所信表明をした直後でしたから、皆さんの驚きは尋常ではなく、その真相を想い巡らし色んな憶測がされていきました。私も真相は知りませんが、それこそ、こんな事件に対して意見・考え方を交換し相つて共に研鑽を深めて行きたいと言っているのが、この「こころ通信」の本意でございますので、この度の安倍総理大臣突然辞任への私の思いを記したいと思います。先ず、彼の人となりを感じます。

彼は性格的にデジタル的だと思います。「右か左か、イエスかノーかはつきりしたい」「一つひとつ結論を出して行くタイプだ」と思います。少しアナログ的性格を持ち合わせていたらこの度のようにはならなかつたと思えます。一つの出来事に結論が出ぬまま次々と結論の出ない問題が山積した時、解決しないのに悶々としながらそれらを凡て心配していると、身がもぢまみせん。神ならぬ身の人間である以上、凡て自分の思う通りになるはずがありません。「人事を尽くして天命を待つ」出来る限りの努力をして、後は『天・神・仏』に託す」という、目に見えない力の認識と奉敬の心(謙虚さ)に欠けていたのではないかと思います。

但、「物事を一つ一つ片付けて行かなければ気がすまない」と言うデジタル的性格がすべて悪いと言っただけではありません。職種によっては、いいかげんな性格の者では困る箇所も数多くあります。しかし、大きい舞台になればなるほど、ある程度アナログ的性格が必要なのではないかと思うわけです。ましてや日本を背負って立つ総理大臣ともなれば、行政の頂点に居るわけですから、あらゆる問題に応じて行かなければなりません。悪くいうと、彼はその資質に乏しかったのだと思います。

次に、私は彼に「幼稚と未熟」を強く感じることを記したいと思えます。

「この地球上の人間は未完成な人格で、完成された人格(神・仏)に成るのを目指して修行するのが、我々の為すべき道である」と言うのが、私の信ずる宗教であり哲学であります。したがって先述の如く、神ならぬ人間である以上、失敗もするし過ちを犯すのは仕方の無いことです。問題は「それが自覚できるか、自覚できたら自認できるか、自認できたら直に正せるか」と言うことです。

彼は今日まで「人力では如何ともできなく、この後は神仏にすがるより仕方が無い」という状態・立場になつたことではないのでしょうか。あるいは、そんな状態・立場になつても、神仏を頼む思いにはならなかつたのでしょうか。いずれにしても私には、彼自分が不完全な人間だという自覚に欠け、目に見えない力を蔑ろにした自信過剰からの驕慢と、苦勞経験不足による未熟さが感じられてなりません。

更に辞任の理由が「自分が辞任しなければ話が進まない」とか「民主党の小沢党首との党首会談を断られたから」とか、子供の駄々コネのように理由にならないことを言っています。

「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言います。体調を崩し、無理に無理を重ね、精神的にも健全さを欠いた結果の言動だと同情はしますが、それにしても、算用が悪いと言えはいいのか下手と言えはいいのか素直でないと言えはいいのか、なんともいいたくありません。

安倍さんには、この度の事件に負けることなく、むしろ、これを良き機会にして、一廻りも二廻りも

大きく強く成長して頂き(人格的に)、今後、必ずしも政治家や総理大臣としてでなくても、将来の日本の為に役立ち、活躍頂きたいと思えます。

次に、自民党による「次期総裁選び」次期首相選び」について私の思うことを記したいと思います。

安倍首相の突然の辞任を受け自民党では、急遽その後継者選びにおおわらわです。何と言つても政府与党の責任の下での国会が、首相の所信演説まで終つて、代表質問に入る寸前まで進行したのですから、参議院選挙で惨敗した自民党としては、もうこれ以上党の印象を悪くしてはいけないという危機感が働いたのは当然でしょう。

そこでこの後継者選びは数多くの(少なくとも数名)立候補者が出るものと思つていました。ところが現実には福田康夫と麻生太郎の二人だけでした。当初は、前内閣官房長官の麻生氏が本命と見られていましたが、そこはそれ日本人の議員先生達の妬みや恨みを買ひ、麻生派以外はすべて福田側にまわりふたりに絞られた今は、福田氏が断然有利と報道されています。ここにも私の最も気に入らない選挙方法が原因となつていいます。

この「こころ通信」でも何度か訴えてきました。『首相公選』に何故しないのでしょうか。国会議員が自分たちの権利を失いたくないからです。民主主義とは主権在民です。民の考えで行政の長である総理大臣を選出すべきであります。現実には国会議員の考えで総理大臣が決められています。国会議員は国民が選んだのだから国民の代表として国会議員が総理大臣を選ぶのは主権在民に反してはいない」と言うのは、私にいわせれば間違いです。

勿論、己を空しくして利を求めない「滅私奉公」の思想の持ち主ならそれでもよろしいと思えますが、今日そんな人物が何処にいますか。一人もいません。元々、国会議員とは立法の府である国会において、法律について提案し、吟味し、討論し、採決するのが主な仕事なのです。そこで意見の合った者どうしが、その考えを通すために党を組むのはよいでしょう。それが勢力争いに発展し行政の長である内閣総理大臣の椅子の奪い合いになつて、多数党の党首になれば即ち総理大臣という形になつてしまつたのです。『首相公選』、国民全員で首相を選ぶようになれば自民党の総裁など誰でもよいと私は思っています。

「主権在民」をより色濃くし、餓鬼たちの争いの火種を取り除き、国会議員をして立法院の仕事に専念せしめるために、一日も早く『首相公選』を実現しなければならぬと思えますが、餓鬼たちがその権利を放そうとしません。小泉純一郎に期待し、安倍晋三に期待しましたが叶いませんでした。独裁色が濃くなるかも知れませんが織田信長のような者を連れて来なければ直らないのでしょうか。【但し、このような思想は国家を憂うあまり、かの有名なヒトラーを産んだ当時のドイツに蔓延していた危険な考え方ですので用心しなければなりません】

ところで話を現実に戻して、自民党総裁選挙でどちらが勝つか。どちらに勝つて欲しいか記します。

私は麻生さんに勝つてほしいと思えますが、勝つのは福田さんだと思います。また、どちらが勝つとそんなに大違ひはないと思えます。印象としては福田さんからは、落着き・慎重・真面目・安心・陰気・暗い感じを受けます。麻生さんからは、明るい・陽気・元氣・笑い・軽率・不安定・おつちよこちよいというイメージを感じます。民主党の小沢さんを相手にすることを考えますと、福田さんの方が自民党としては安心なのではないかと思えます。

小沢さんの名が出て来ましたので、ここで無責任ですが私なりの意見を申し上げます。

私は、なるべく近い将来、民主党(小沢さん)に内閣総理大臣をさせてみたいと思つていいます。一つは、墮落・腐敗・驕慢・のぼせ上りの自民党に反省を促し懲らしめの意味で、注射・やいとをするからです。

一つは、現実的な政治家だと思つている小沢さんが、野党の立場からか、何事にも自民党の反対をするあまり、実際運営上、当然果たすべき義務まで履行反対の発言をしているからです。自衛隊に対してその存在価値を認めなかつた旧社会党が、党首の村山さんが総理大臣になつたというさま、その存在を肯定しました。野党に戻つた今、亦反対していますが、国民からの信頼は完全に失墜し、今は見る影もありません。小沢さんが総理大臣になつた時、今は反対しているインド洋上での給油を、するかしらないか楽しみです。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘

個人メール E-mail Oki2525@oki-shouten.com

(こころ通信への意見はあく個人的な連絡はご遠慮ください)